

大分方言文献目録(2)

二階堂, 整
福岡女学院短期大学講師

<https://doi.org/10.15017/15481>

出版情報 : 文献探究. 24, pp.1-7, 1989-09-20. 文献探究の会
バージョン :
権利関係 :

大分方言文献目録 (2)

二階堂 整

- 085 松田 正義 1956(S31) 「暮らしと言葉(1)」『豊州雑筆』24
- 085 松田 正義・糸井 寛一 1956(S31) 『大分県方言の旅』1~3 NHK大分放送局 K<第一巻 大分郡西庄内村、玖珠郡北山田村、第二巻 東国東郡国東町、佐伯市大入島、第三巻 宇佐郡院内村東院内、大野郡野津町字野津市、中津市旧市内、第一巻は松田正義著>
- 086 松田 正義 1957(S32)・3 「再びメセとヤリを」『教室』大分大学学芸学部
- 087 糸井 寛一 1957(S32)・3 「大分方言ところどころ」『言語生活』66 筑摩書房
- 089 松田 正義 1957(S32)・10 「共通語指導の基本問題——大分県の場合——」『言語指導』朝倉書店
- 090 大畑 勘 1957(S32)・12 「大分県南部の方言文末詞」『方言研究年報』1 広島大学方言研究会<南海部郡直川村上直美、宇目村木浦、同西山、大野郡野津町清水原、同泊、清川村六草、同左右知、竹田市樞獄>
- 091 小野 安人 1957(S32) 『白杵方言と言語現象』>
- 092 糸井 寛一 1957(S32) 「カタカナによる方言音の表記」『大分大学学芸学部紀要』6<日田郡、中津江村間地、日田市東有田、玖珠郡玖珠町北山田、玖珠郡九重町飯田、下毛郡山国町溝部、中津市、宇佐郡四日市町糸口、宇佐郡院内村東院内、豊後高田市呉崎、東国東郡姫島、東国東郡国東町国東、速見郡山香村中山香、大分郡庄内村南庄内、北海部郡坂の市町佐野、白杵市白杵、津久見市保戸島、佐伯市大入 島、佐伯市木立、佐伯市下堅田、南海部郡蒲江町深島、南海部郡宇目町、木浦、大野郡野津町野津市、大野郡野津町川登、大野郡三重町百枝、大野郡緒方町徳田、大野郡清川村合川、直入郡直入町長湯、直入郡久住町白丹>
- 093 松田 正義 1957(S32) 「ヨダキーズム」『産業経済新聞』
- 094 松田 正義 1957(S32) 「メセとヤリ」『大分県中学校国語教育』4
- 095 糸井 寛一 1957(S32) 「方言から標準語へ」(九州地方)NHK国語講座『方言と文化』306~314 宝文館<耶馬溪、宇佐>
- 096g 吉町 義雄 1957(S32) 「九州地方(大分郡植田村)」NHK国語講座『方言と文化』18~25 宝文館
- 097 佐藤 蔵太郎 1957(S32)? 「佐伯方言一斑」『南海部郡史』
- 098 松田 正義 1958(S33)・3 「言語生活とよいやな節」『教室』大分大学学芸学部
- 099 松田 正義 1958(S33)・5 「話しことば学習論——方言——」『国語教育科学講座』4 朝倉書店
- 100 松田 正義 1958(S33) 「方言の旅 苦勞話」(1) (2) (3)『大分合同新聞』

(2)

(7/29・30 8/1)

- 101 土居 重俊 1958(S33) 「大分県中津市のアクセント」『音声学会会報』98
- 102 吉町 義雄 1958(S33) 「方言の旅 西海道の巻」『NHK国語講座』4(4)(8・9月号)28~30<ラジオ放送用テキスト、杵築市、佐伯市>
- 103 松田 正義 1958(S33) 「暮らしと言葉(2)」『豊州雑筆』51
- 104 松田 正義 1959(S34)・3 「ソバエとヒトソバエ」『教室』大分大学学芸学部
- 105ce 糸井 寛一 1959(S34)・11 「大野郡川登村方言の記述(野津町)」『国立国語研究所報告』11(日本方言の記述的研究)239~264 明治書院
- 106 松田 正義 1960(S35)・2 「地域社会における国語教育」文部省『国語シリーズ』45 明治書院
- 107 松田 正義 1960(S35)・2 「方言と共通語との対応を見つめて」『国語教育』明治書院
- 108 日本放送協会編 1960(S35)・2 『NHK音のライブラリー 全国方言資料』6(九州編)<大分郡西庄内村、南海部郡上野村>
- 109 糸井 寛一 1960(S35)・3 「南豊後山村方言における動詞の活用体系」『大分大学学芸学部研究紀要』9A(人文・社会科学)<大野郡野津町西神野>
- 110 糸井 寛一 1960(S35)・5 「南豊後山村方言の音韻——大野郡野津町西神野方言について——」『国文学攷』23 広島大学国語国文学会
- 111 松田 正義 1960(S35)・9 『方言生活の実態——全県的研究の一報告——』明治書院 K <中津江村間地、日田市(東有田、大鶴本町)、玖珠郡九重町飯田、下毛郡(山国町溝部、耶馬溪村家籠)、宇佐郡長州町長州、豊後高田市呉崎、東国東郡姫島村、速見郡山香村中山香、大分郡(大分村植田・大南町戸次)、北海部郡佐賀関町一尺屋、津久見市保戸島、南海部郡(蒲江町深島、宇目村木浦鉦山、鶴見村大島)、大野郡緒方町長谷川、直入郡(直入町長湯、久住町白丹、西国東郡真玉町黒土)>
- 112 柴田 武 1960(S35) 「方言の音韻体系」『国文学——解釈と鑑賞——』10(9)<大分県の四つ仮名弁の最初の報告 南海部郡上野村、南海部郡下堅田>
- 113 吉町 義雄 1960(S35) 「西海道の巻」『方言の旅』92~96<杵築市、佐伯市>
- 114 松田 正義 1960(S35) 「大分の方言」『大分合同新聞』<週二回連載>
- 115 松田 正義 1961(S36)・5 「生活語と語法指導」『教育展望』7(別冊)教育出版社
- 116 松田 正義 1961(S36)・6 「学校における方言と共通語教育 1、九州北部——大分中心に——」『方言学講座』4 東京堂
- 117 糸井 寛一 1961(S36)・6 「方言の実態と共通語化の問題——大分・宮崎

- 北部——」『方言学講座』4、239～267 東京堂 K<大野郡大野町土師地区>
- 118 日本放送協会大分放送局 1961(S36)・6 『僻地方言調査』(謄写版)<臼杵市諏訪津留区>
- 119 松田 正義 1961(S36)・6 『僻地方言調査』NHK大分放送局
- 120 松田 正義 1961(S36)・8 「日本の方言はなくなるか」『言語生活』筑摩書房
- 121 松田 正義 1961(S36) 「『方言の旅』書評」『言語生活』112 筑摩書房
- 122j 松田 正義・糸井 寛一 1961(S36) 柴田武編『お国ことばのユーモア』211～220 東京堂
- 123 松田 正義 1961(S36) 「『明解日本語アクセント辞典』書評」『国語学』43
- 124 糸井 寛一 1962(S37)・3 「大分県の四つがな弁略報——玖珠町木牟田方言について——」『国文学攷』29 広島大学国語国文学会
- 125 糸井 寛一 1962(S37)・4 「発見について」『もず』2、9～17 大分大学教育学部国語科 謄写版)
- 126 染矢 多喜男 1962(S37) 『地名覚書』大分舞鶴高校
- 127 糸井 寛一 1963(S38)・3 「大分市近郊のサ行・ザ行・タ行・ダ行の音」『大分大学学芸学部研究紀要』2(2) K
- 128 阿南 光彦 1963(S38)・12 「大分県大野郡朝地町市万田の方言あいさつことば」『方言研究年報』6、75～80 広島大学方言研究会
- 129 小野 米一 1963(S38)・12 「大分県南海部郡蒲江町楠本の方言あいさつことば」『方言研究年報』6、81～88 広島大学方言研究会
- 130 糸井 寛一 1964(S39)・9 「九重町方言の動詞と語形表」『大分大学学芸学部研究紀要』2(4)A(人文・社会科学) 28～54<九重町南山田区大学生竜>
- 131 小園 胤一郎 1963(S39) 「国語の陶冶——方言の問題——」『国語大分』8
- 132 松田 正義 1964(S39) 「暮らしと言葉」『豊州雑筆』121
- 133 糸井 寛一 1965(S40)・2 「大分県長湯方言のモーラ体系」『大分大学学芸学部研究紀要』2(5)B(人文・社会科学) 10～26<直入郡直入町長湯>
- 134 山内 武雄 1965(S40) 『佐伯方言考』自刊(謄写版)
- 135f 野津町 1965(S40) 「野津町の方言」『野津町誌』407～415 K
- 136 松田 正義 1965(S40) 「方言百科(大分方言)」『日本経済新聞』(11回)
- 137 松田 正義 1965(S40) 「九州のお国ことば(大分)」『日本農業新聞』(9回)
- 138 糸井 寛一 1965(S40)? 「方言音サ・セ・ソなどの頭音」『教室』9、43～45 大分大学学芸学部<竹田市>
- 139 松田 正義校閲 1965(S40)～1967(S42) 大分県中学校国語教育研究会編

(4)

『ことばのきまり』1～3 吉野書房

- 140 松田 正義 1966(S41)・3 「共同研究のすすめ——方言学の場合——」
『国語の研究』1 大分大学国語国文学会
- 141e 河合 茂美 1966(S41)・10 「個人研究発表 例1 大分県大分市鶴崎方言の助動詞」『方言研究年報』9、99～108 広島大学方言研究会
- 142 糸井 寛一 1966(S41)・3 「大分県『四つ仮名弁』考」『国語の研究』1、10～17 大分大学国語国文学会
- 143 日本放送協会編 1966(S41) 「大分郡西庄内村、南海部郡上野村」『全国方言資料』6(九州編) 313～378
- 144 日本放送協会編 1966(S41) 「辺地・離島編」『方言資料』9<臼杵市諏訪津留区>
- 145 土谷 惟文 1966(S41) 「方言」『三重町誌』292～318 三重町役場
- 146b 国立国語研究所 1966(S41)～1974(S49) 『日本言語地図』1～6 K <日田郡(中津江村大字栃野字下鶴、前津江村大野本村、栄村合田字柚ノ木)日田市(大肥本町、田島町字大原道)玖珠郡(玖珠町大字山田字谷口、九重町大字田野字北方)、下毛郡(山国町槻ノ木新谷、本耶馬溪村樋田、耶馬溪村大島、耶馬溪村深耶馬溪小柿山)中津市上宮永、宇佐郡(安心院町新原峰ノ浦、安心院町寒水、宇佐町南宇佐)豊後高田市呉崎中新開、東国東郡(姫島村北浦、国東町安国寺田野、安岐町下原)速見郡(山香立石上町、日出町日出赤山)大分郡(庄内町東長宝、庄内町阿蘇野地区高津原、湯布院町川北荒木、野津町高原高沢、大南町中戸次市)杵築市西下司区菊本、西国東郡真玉町里井中村、大分市(中央町、三芳椎迫)別府市東山一区小杉、北海部郡(大在村横田、佐賀関町関西町)臼杵市(佐志生藤田、福良)津久見市(津久見西の内、四浦落浦)佐伯市西中区中央通、南海部郡(蒲江町蒲江熊野、宇目村千束字豊藤、宇目村木浦内西山、米水津村浦代、直川村上直見竹ノ下、鶴見町丹賀)竹田市玉来、大野郡(野津町清水原今俵、大野町田中妙勝庵、犬飼町犬飼二部区、三重町赤嶺下赤嶺、緒方町小原)直入郡(久住町久住、萩町柏原)
- 147 糸井 寛一 1967(S42)・10 「ある『四つ仮名弁』——大分県大野郡六種方言——」『大分大学教育学部研究紀要』3(2)1～14<清川村六種>
- 148dh 古賀 久美恵 1967(S42)・3 「大分県におけるアクセント指導——主として法則について——」『国語の研究』2、45～51 大分大学国語国文学会<大野郡三重町>
- 149b 小野 米一 1967(S42)・3 「方言の性格——大分県豊後水道沿岸の方言について——」『国語の研究』2、36～44 大分大学国語国文学会<北海部郡佐賀関町(神崎馬場、小黑、白木、一尺屋下浦)臼杵市(佐志生、大浜、風成、深江、久保浦、泊ヶ内)津久見市(長目釜戸、堅浦、千怒、四浦、四浦落ノ浦、四浦狩床、保戸島)佐伯市(二栄区古江、大入島塩内)南海部郡

(蒲江浦、蒲江町楠本、西野浦、丸市尾、上浦町蒲戸、津井、鶴見町地松浦、羽出、丹賀、大島、米水津村浦代、色利)

- 150f 油布 勉 1967(S42)・8 『ふるさとの言葉』〈自刊、大分市〉
- 151 糸井 寛一 1968(S43) 「コンマイ・コンメエの問題」『国語学』70～74
〈大分県南部〉
- 152b 松田 正義 1968(S43) 「本論 くじゅう方言の実態」『くじゅう総合
学術調査報告書』189～222 大分大学教育学部 K 〈九重町南山田、飯田
(北部)湯布院湯ノ平(東部)、庄内町阿蘇野、久住町都野、久住町白丹
南部) 153参照〉
- 153ce 糸井 寛一 1968(S43) 「序論 くじゅう方言概説」『くじゅう総合学
術調査報告書』175～188 大分大学教育学部 K 〈九重町南山田、飯田(北
部)湯布院湯ノ平(東部)、庄内町阿蘇野、久住町都野、久住町白丹(南部)
152参照〉
- 154 松田 正義 1968(S43)・3 「大分県佐賀関半島の三行弁」『国語の研究』
3、1～12 大分大学国語国文学会〈大分市(大在、丹生、小佐井、坂ノ市)
北海部郡(神崎、木佐上、大志生木、佐賀関、白木、一尺屋)臼杵市(佐志
生、下ノ江、海辺、下北、上北)〉
- 155f 杵築市教育委員会編 1968(S43) 「お国ことば」「杵築方言番付」『杵
築市誌』532～539、398頁 杵築市 K
- 156 松田 正義 1968(S43)・5 「放送のことばと方言」『文研月報』NHK
- 157a 糸井 寛一 1969(S44)・5 「大分(九州地方の各県別解説)」九州方言
学会編『九州方言の基礎的研究』254～262 風間書房 K
- 158a 糸井 寛一 1969(S44)・5 「大分(九州地方の各県別解説)」九州方言
学会編『九州方言の基礎的研究』254～262 風間書房 K
- 159a 松田 正義 1969(S44)・5 「形容詞の意味分類」九州方言学会編『九州
方言の基礎的研究』541～573 風間書房 K
- 160a 鏡味 明克 1969(S44)・5 「集中調査研究 大分県長湯方言」九州方言
学会編『九州方言の基礎的研究』287～346 風間書房 K 〈直入郡直入町長
湯 161参照〉
- 161a 糸井 寛一 1969(S44)・5 「録音資料 大分県長湯方言」九州方言学会
編『九州方言の基礎的研究』342～350 風間書房 K 〈直入郡直入町長湯 1
60参照〉
- 162a 九州方言学会 1969(S44)・5 『九州方言の基礎的研究』342～350 風間
書房 K 〈日田郡前津江村大野、日田市市の瀬町、玖珠郡(玖珠町日出生、
九重町町田)下毛郡耶馬溪村平田中村)宇佐郡四日市町葛原、豊後高田市松
行、東国東郡国東町富来三浦、杵築市狩宿、速見郡日出町南端目刈、大分市
(坂ノ市局内市尾、古国府、臼杵市井村、津久見市日見、南海部郡(蒲江丸
市尾浦、本匠村堂の間、鶴見間地松浦)大野郡(千歳村、清川村六種)竹田

(6)

市太田、直入郡直入町長湯>

- 163 松田 正義 1969(S44)・7 「二豊国境の言語境界線」『国語の研究』4、1
～21 大分大学国語国文学会 K <日田郡上津江村、玖珠郡、大分郡、別
府市、宇佐郡、豊後高田市、東国東郡、速見郡、西国東郡太田村、杵築市>
- 164 小野 米一 1969(S44)・7 「九州北東部方言の方言地理学的研究(1)——
その基礎作業としての調査について——」『北海道教育大学紀要 人文』20
(1)1～16
- 165 宮崎 一枝 1969(S44)・5 『国東半島の昔話』(『昔話研究資料叢書』2)
三弥井書店<166参照>
- 166 小野 米一 1969(S44)・5 「国東半島方言解説」宮崎一枝『国東半島の昔
話』(『昔話研究資料叢書』2)三弥井書店<165参照>
- 167f 三重野 梯次郎 1969(S44) 「資料二 国見の方言」『国見の今昔』15
2～161 国見町教育委員会
- 168 松田 正義 1969(S44)・9 「九州方言概論」『言語生活』筑摩書房
- 169 亀野 篤 1969(S44) 「小森部落の三行弁」『仏教大学通信教育学部論集』
4
- 170 高田 誠 1969(S44) 「九州・ことばの地理」『言語生活』216 筑摩書房
- 171 小野 米一 1970(S45)・1 「九州北東部方言の方言地理学的研究(2)——
言語地図の製作——」『北海道教育大学紀要 一部A』20(2)26～45
- 172 佐賀関町史編集委員会 1970(S45) 「佐賀関の方言・訛」『佐賀関町史』
913～914 佐賀関町 K
- 173 上畝 勝 1970(S45) 『九州方言辞典』上巻(中南部篇)九州民族研究中
南部同人会(鹿児島) K
- 174fg 安心院町誌編集委員会 1970(S45) 「方言」『安心院町誌』591～592 K
- 175 高田 一彦 1971(S46)・3 『大分方言』(自刊)
- 176 周宝 明美 1971(S46)『津江ことば』津江の歴史を知る会 K
- 177 高木 重吉 1971(S46)・3 「漁村語彙考——津久見市四浦西泊——」『国
語の研究』5、65～70 大分大学国語国文学会 K
- 177 小野 米一 1971(S46)・2 「九州北東部方言の方言地理学的研究(3)——
方言事象分布の諸相 1 アクセントに関して——」『北海道教育大学紀要
人文』21(2)41～56
- 178f 渡辺 澄夫 1971(S46)・2 「付録 方言」『大分県の歴史』(県史シリ
ーズ44)62～66 山川出版社 K
- 179 後藤 俊郎 1971(S46) 「大分あれこれ」『アドバンス大分』5月号 155
頁
- 180 松田 正義 1971(S46) 「大分方言今昔」『アドバンス大分』5月号
- 181 松岡 実 1972(S47) 「浄瑠璃——その現代——」『アドバンス大分——
一周年記念号——』8月号 66～70

- 182 利光 佐保子 1972(S47)・6 「日出町の形容詞にみられる造語法」『国語の研究』6、68～75 大分大学国語国文学会 K
- 183 著者不明 1973(S48) 「方言をたずねて」『おだがわ開校百周年記念号』55～58 大分市立小佐井小学校〈方言による「桃太郎」の話〉
- 184 安本 博幸 1973(S49) 「大分県津久見市保戸島の方言」『国語国文——研究と教育——』2 熊本大学教育学部
- 185 久次 直満 1973(S49) 「ことばの地域性——鶴見半島沿岸部のことば——」『国語国文——研究と教育——』2 熊本大学教育学部
- 186e 河合 茂美 1974(S49)・9 「大分県大分市大字鶴崎方言話部音声の研究」広島方言研究所紀要『方言研究叢書』3、91～144 三弥井書店
- 187b 藤原 与一 1974(S49)・9 『瀬戸内海言語図巻』全二巻（上巻 音韻・文法、下巻 語彙）『瀬戸内海方言の方言地理学的研究』（『瀬戸内海言語図巻』付録説明書）東京大学出版会〈下毛郡折本、宇佐郡（佐々礼、巖保、小坂）豊後高田市（熊野、立石）東国東郡姫島（稻積、大海、北浦、南浦）東国東郡（本村、浜影、北江、重藤、古城、古市）西国東郡（浜、見目、堀切）速見郡（辻間、八代）大分郡（塚原、塚野）北海部郡（北村、大平、福永）中津市（小祝、今津磯）杵築市（美野崎、守江追）大分市（田ノ浦、向原、松岡菰田、広河内）〉
- 188f 千歳村誌刊行会 1974(S49) 「方言」『千歳村誌』292～304 千歳村
- 189f 佐藤 善忠編 1974(S49) 「鶴崎地方の方言・訛言」『小中島小史』273～278 小中島・徳島自治会 K
- 190f 佐伯市史編纂委員会 1974(S49) 「佐伯方言考」『佐伯市史』959～967 佐伯市 K
- 191 松田 正義 1974(S49) 「九州のことば——大分——」『旅』14 研秀出版

＜続く＞

——福岡女学院短期大学講師——